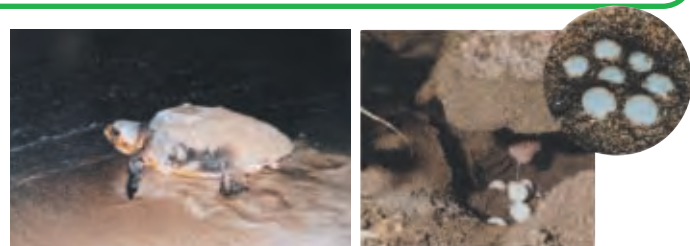


# 取り戻しつつある 自然環境

## ウミガメの上陸

東播海岸は、かつてはウミガメの産卵場所でした。侵食による砂浜の消滅のあとはすっかり姿を見せなくなりましたが、養浜による砂浜の回復によって、ウミガメの上陸・産卵が再び確認されるようになりました。



<ウミガメの上陸産卵>



## 失われた海浜植物を取り戻す

かつて自然の砂浜に生育していた海浜植物をよみがえらせるために、藤江海岸で植栽実験に取り組んでいます。ハマボウフウ、ハマヒルガオなどの12種の苗を植え、生育を見守っています。



ハマボウフウ



ハマヒルガオ



アマモ



離岸堤周辺に生息する魚

## 海域に生息する生き物たち

海域の主な生物は、アマモ、カジメといった海藻やハゼやメバル、カレイといった魚などです。アマモ場や離岸堤などの構造物の周辺は、魚たちの生息の場となっています。

# 海岸の利用状況

現在の東播海岸は、これまでの海岸整備によって沿岸に暮らす人々の安心と安全を確保することができただけでなく、多くの人々に海水浴や憩いの場、釣り、サイクリング、散策といったレクリエーションにも利用できる場となっています。



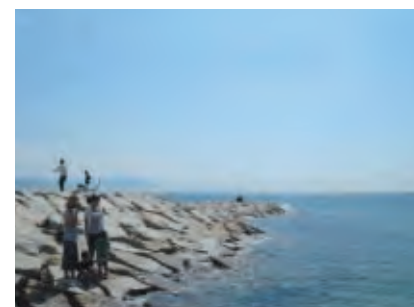
舞子公園



護岸上での魚釣り



播磨サイクリングロード



突堤上での魚釣りや磯遊び



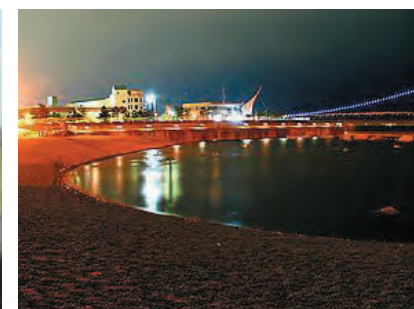
江井ヶ島浜の散歩道



松江海水浴場



浜辺の散歩道と壁画



大蔵海岸海峽広場の夜景



八木遺跡公園

